

WAZA-ONE GP <公式ルール>

～ 遊びのオリンピック ～

紙とんぼ編

1. 競技内容

- 飛んだ飛距離を競う（より、遠くへ飛んだ人の勝ちとなる）。

2. 運用方法

- ①予選会および決勝トーナメントを実施する。
- ②決勝トーナメント進出者を8名とし、1～3位まで順位を決定する。

3. 総合ルール ～ 競技に参加するために ～

①競技規格（工作に関するルール）

- 主催者から与えられたもののみで工作を行なう。
串は【竹串】を使用する。羽は【厚紙】を使用する。
 - 串の長さに制限はない。羽の大きさは、90ミリ×30ミリまでとする。
 - 串・羽の切り取りは可能とし、自由に工作することができる。
 - 串の先は、必ず切り取りフラット（鋭利でない）にすること。
 - 羽の角は、必ず丸く切り取る（危険防止のため）。
 - 羽には必ず氏名を記入すること。
 - 串と羽を固定させ飛ばす仕様のもの・羽のみ飛ばす仕様のもの、どちらでも可能とする。
- 上記項目について規格検査を実施し、クリアした場合のみ競技に参加することができる。

②競技ルール

- 予選会・決勝トーナメントとも、1人当たり2回飛ばすことができる。
- 飛距離は計測せず、その時に（2回飛ばしたうち）、一番遠くへ飛んだ方を勝ちとする。
- 競技するエリアにフェアゾーンとファールゾーンを区別する線を引くが、その線に少しでも掛かっていたらフェアとする。
- 競技エリアの大きさは、15メートル×6メートルとする。
- 飛距離の判定について、スタート位置（飛ばす位置）から、一番離れている箇所を対象とする。
- 斜めに飛んだ場合も、直線距離で判定する。
- 飛ばす際に、少しでもラインを踏み越えた場合はファールとする。

③禁止事項

- 材料・工具などの持ち込み・使用は一切禁止とする。
- 串を2本以上利用する・羽を2枚以上重ねる（部分的なものも含む）といった組み合わせは一切禁止とする。
- 審判・測定者など、主催者側へのクレームは一切禁止とする。

4. 附則

- このルールは、2010年3月28日より施行する。
- スポーツマンシップを遵守し仲良く楽しく競技する。

(図解) : 工作方法の一例

(定規は30センチ)

①じゅんびぶつは【くし】と【あつがみ】



① 準備物は【串】と【厚紙】

②きかくにあうおおきさにきりとる



② 規格に合う大きさに切り取る

③くしのさをきずる（マイナスドライバーじょう）



③ 串の先を削る（マイナスドライバー状）

④はねはとぶようにくふうしてこうさくする



④ 羽は飛ぶように工夫して工作する

⑤かんせいさくひん（はねのみとぶじょう）



⑤ 完成作品（羽のみ飛ぶ仕様）

⑥そのたのこうさくれい（きかくがい）



⑥ その他の工作例（規格外）

(図解) : 飛ばし方

①くしをりょうてではまみ、かまえる



① 串を両手はさみ、構える

②りょうてをすりあわせてとばす



② 両手をすり合わせて飛ばす